

09.1.29

レセオンライン請求義務化撤回訴訟原告団ニュース《No. 3》

発信：神奈川県保険医協会 TEL：045-453-2411 FAX：045-461-0215

ご送付が遅くなり申し訳ございません。

1月21日、961名が横浜地裁へ提訴！

【NHK、テレビ東京が放映、朝日、読売、毎日など新聞にも掲載】

1月21日、当会のレセプトオンライン請求義務化撤回訴訟に呼応して立ち上がった全国の保険医961名が、横浜地裁に提訴した。医師・歯科医師が約1000名という人数で集団訴訟を起こした例は無い。現在も当会には全国の保険医の仲間から原告団参加の申し込みが寄せられており、2月行う第2次提訴では1500名超の原告団になることが予想される。当日は原告や支援者65名が参加。報道関係も在京テレビ局7社を含む約30名が取材に詰め掛けた。

提訴行動には原告団結成総会で選出された平尾紘一原告団団長（協会理事長）と入澤彰仁原告団幹事長（協会保険診療対策部長）らを先頭に午後2時半に横浜地裁へ入場。その後、横浜弁護士会館に移り、記者会見を開催した。

今後、さらに原告の募集を行い、2月中に第2次提訴を行う。まだ原告団に参加していない先生方は、是非ご参加いただきたい（右記「参加申込欄」にご記入下さい）。なお、第1回公判は3月から4月にかけて開かれる予定である。

記者会見における主な発言

平尾原告団団長：オンライン請求の義務化は、事実上の保険医定年制の導入。過去には厚生労働省が導入しようとしたが我々の反対運動で断念。しかしその後、点数区分の内訳がわかる領収書の発行を義務づけるなどで徐々に保険医を締め上げている。その上、オンライン請求義務化がとなれば保険医を辞める仲間が増えるため、裁判に訴えた。これ以上厚生労働省の好き勝手にはさせない。

入澤幹事長：厚生労働省令による請求方法の変更だけで診療報酬が支払われなくなるのは言語道断。長年地域医療を守り抜いてきた医師・歯科医師がいなくなることが患者にとって幸せなのか。保険医の仲間や患者のために全力で闘っていく。

田辺幸雄弁護団団長：訴状について、大きな3つの論点を説明。

- ① 営業の自由の侵害⇒オンライン請求の義務化により開業医の約1割が閉院に追い込まれる。
- ② 行政の原理原則の違反⇒保険医の権利義務関係に大きく影響を与えるオンライン義務化は、厚生労働省の省令で規定できる内容ではない。
- ③ 医師・歯科医師の人格権の侵害⇒医療機関が患者の個人情報を管理する責任を

負わされているにもかかわらず、オンライン請求義務化によりその責務を果たせなくなる。

横浜地裁前後のマスコミ各社の報道

是非、ご覧下さい！

◆訴訟事前報道

- ①前掲載紙 神奈川新聞（1面4段抜き）、読売、毎日、日経、15地方紙（共同通信の配信）※1/16朝刊に掲載（日経のみ1/20）
- ②雑誌等 日本医事新報 ※1/17号

◆提訴後の記者会見（報道関係 約30名）

- ①テレビ NHK、日本テレビ、TBS、フジ、テレビ朝日、テレビ東京、TVK
- ②新聞 朝日、毎日、読売、日経、産経、神奈川、東京、共同、時事（一部、神奈川県の「地域面」のみ掲載している新聞あり）
- ③医療系雑誌等 医事新報、日経メディカル、m3.com、メディファックス、日刊医療新聞

◆事後報道

- ①テレビ NHK首都圏ニュース、テレビ東京（ともに1/21放映）
- ②新聞等 朝日、毎日、読売、神奈川、東京、中国、赤旗（全て1/22付）
- ネット m3.com、FNN・日テレ・テレ朝・テレ東（動画ニュース）

★オンライン訴訟を「支援する会」を立ち上げ！★

オンライン訴訟を勝利に導くには、原告のみの活動では困難であり、世論を味方につける必要があります。そこで「支援する会」を組織し、側面からの支援体制を整備していきます。「支援する会」の結成にあたり、各協会や友誼団体への協力依頼はもちろん、患者国民にも参加を訴えます。また、裁判の傍聴の協力もお願いし、法廷を常に満杯にすることで裁判官に「注目されている裁判」であることを印象付け、裁判を有利に進めたいと考えています。

★「オンライン訴訟の「支援する会」HPを開設！



オンライン訴訟を「支援する会」では、ホームページを立ち上げ、裁判の進行状況や行動提起などの情報発信を行うと共に、裁判資料の閲覧を出来るようにします。今後、随時更新をしていきますので、是非ご覧下さい。

また、患者・国民向けにも情報提供を行い、患者・国民の声を集約します。「医者・歯医者がいなくなると大変」、「レセプト情報の漏洩が心配」などのオンライン請求に対する不安の声まとめ、その声を国会議員やマスコミ、厚生労働省に訴えかけたいと思います。

是非、アクセスして下さい！

HPアドレス

<http://www.online-receipt-opposite.com>

◆このFAXは「レセプトオンライン請求義務化撤回訴訟」の原告団に参加されている先生方に送付しております。